

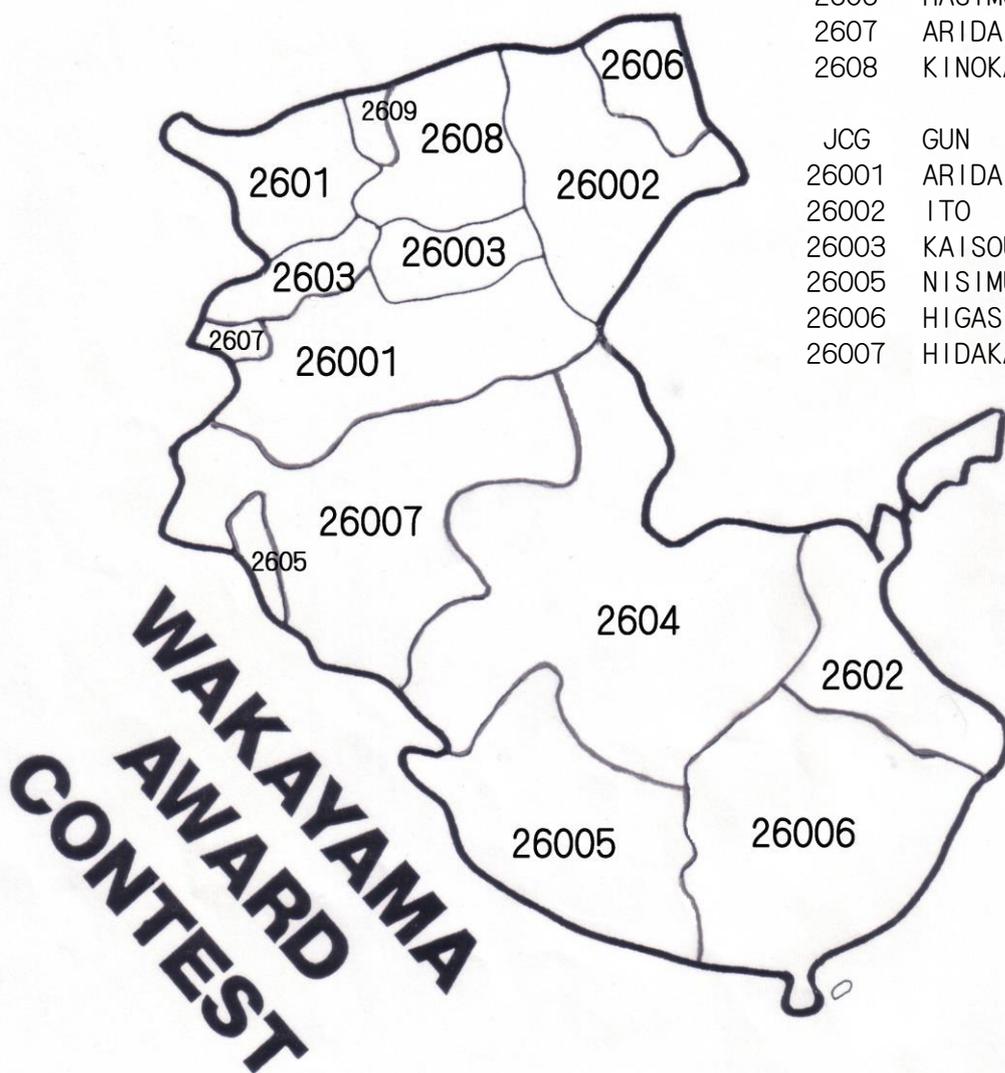


和歌山県支部報

2006. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA
2608	KINOKAWA

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAISOU
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



支部大会・ハムの集いのご案内

J A R L 和歌山県支部

日 時 平成18年2月12日(日)

10:00ハムの集い 13:00支部大会

場 所 和歌山市中央コミュニティーセンター

〒640-8123 和歌山市三沢町1丁目2番地

平成17年度J A R L 和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成16年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成17年度中間報告
- (6) 平成18年度行事計画・同予算説明
- (7) 評議員現状報告
- (8) 監査指導委員長現状報告
- (9) 第17回和歌山コンテスト入賞者紹介
- (10) 和歌山アワード発行状況報告
- (11) 非常通信訓練結果報告
- (12) 意見交換 その他
- (13) 閉会の辞

ご 挨拶

日本アマチュア無線連盟
和歌山県支部
支部長 JH3EZV 勝本 健

会員の皆様方には益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。
また、日頃からJARL和歌山県支部や関西地方本部が開催する行事や活動に対して深いご理解と暖かいご支援・ご協力を賜わり心から厚くお礼申し上げます。

さて、私が支部長を拝命して以来早くも3期・6年を経過しようとしています。
当初の2000年は、選挙制の下で諸先輩のご推薦を受けて立候補して選出された支部長でしたが、時恰もJARLの瘦せ細り時期と相俟って財政削減の観点から組織改革の一環として理事や評議員の定数削減と共に支部長は選挙制から推薦制に移行しました。

また、従来より関西地方本部は横の連携が強いことから、各府県支部独自の行事・活動とは別に関西地方本部合同の行事・活動を推し進めて来た経緯があります。
それらは今日の『関西アマチュア無線フェスティバル』を始めとする『フィールドミーティング』『関西年末ハムの集い』『関西ハムシンポジウム』など生み出しています。
更に、各府県支部間の行事・活動も自由に越境して参加出来る雰囲気であり、財政削減と組織改革に協力しながら、関西全体として行事・活動を盛り上げて来た知恵なのです。

ところが急遽、昨年の理事会と評議員会にて僅かに数年間実施しただけの支部長選出制度をそのフォローも不十分な俣で元の選挙制に戻すことになりました。
そしてその表現は『支部長が支部会員の支援を得て、責任を持って支部運営を遂行出来るよう選挙による支部長の選出を導入することと・・・・・・』となっています。

折から財政削減に協力して支部運営を執行して来た努力は、一体何だったのだろうかとの思いを強く感じています。

一方、情報通信の普及に伴う高速電力線搬送通信(PLC)も我々アマチュア無線家や医療機器分野などを脅かす大きな問題です。
総務省もホームページで一般からの意見を求めましたが、既に実施が決定している事柄に対してそれなりの格好を付けている感じは拭えません。

JARLとして実証実験データーなどを基に阻止を目指して対処していますが、情報通信を更に発展させる方向からも予断を許さない環境にあるようです。

最後になりますが、JARL会員の減少傾向は依然として止まりませんが、和歌山県支部の動向を見る限りそのカーブはやや鈍って来たような感じを受けます。
アマチュア無線の趣味を一生続けるには、夫々の人生に浮き沈みがある如く或る時は熱中出来ても、また或る時は仕事や家庭のため止むを得ず中断する時もあります。

しかし、一度この趣味の面白さや楽しさを覚えた方々は、仕事や家庭で時間的な余裕が出来れば必ず戻って来て夫々の分野でまた新しいことに挑戦しながら活躍しています。

将に、常に進歩を続ける『King of Hobby』の世界なのです。

これからも皆様方はアマチュア無線を一生の趣味として楽しまれることを望むと共に、益々ご健康でご活躍されることをお祈りします。

JARL和歌山県支部大会・ハムの集いに寄せて

JARL関西地方本部長 JA3HXJ 長谷川 良彦

最近インド洋の島々を旅する機会を得て改めて感じたことは、空港でもホテルでもインターネット環境が著しく向上して航空機内で配られる日本語新聞に群がる必要がないくらい情報の窓口が広がった事を痛感します。そのなかで日常のこれらを遮断し、何もしないことを目的にするヨーロッパ人と比べパソコンを持参してビーチに来る滑稽さを感じながらも、これらを捨て去れない平均的な日本人が浮かびあがります。

新年早々日本を震撼させた経済事件でさえ、地球上のどこにいても何の不自由もなくリアルタイムで情報に触れることに改めて驚きを覚えます。

ところがこのような時代にアマチュア無線そのものの存在とあり方に平均的なアマチュア無線家が真剣に議論を重ねているのかはなほだ疑問に思うことがあります。アマチュア無線が確実に変化を遂げる社会の中でこのままの形で未来永劫進化するなどとも考えられない環境の中に身を置いているのですが、その認識をベースにアマチュア無線の未来をにらんでいるかの疑問です。

そして現実に押し寄せる波はアマチュア無線の権益を護るべきJARLの本来あるべき形が、時代の潮流の中で最初のフィルターにかけられる時期にさしかかっています。

単なる趣味の団体として古い持論を酒場の議論として繰り返す楽しみは妨げませんが、真理はそのレベルではなくなっています。時代は過去から多くの人たちが提唱してきたアマチュア無線の社会性あるいは公益性をどう説明し、どのように認知させるかを示す以外に存在理由がないと判断される社会環境にあることを知るべきです。

今私たちは、アマチュア無線にJARLにこの公益性があるのかを改めて考え直し、さらにこれらを秘めながら今まで活動してきたかを改めて振り返らなければなりません。

時すでにおそし..の印象もありますが、変わらないことを誇りのように変化を嫌ったJARLが個人的な趣味という定義にとらわれ、義務をはたすより権利の主張に熱心だった時代に終止符を打ち、新しいアマチュア無線文化をどう申し送るのかを考える年にしたいと思います。

年頭のご挨拶にやや辛辣な内容をあえて申し上げたのは、アマチュア無線を社会の中のどの位置に置くかをもう一度話題にして、生き残るために創意と工夫を重ねたアマチュア無線の歴史に現代の英知を織り込もうではありませんか。今年の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

ご挨拶

(社) 日本アマチュア無線連盟
監事後藤太栄
— J H 3 G A H —

* 高齢化社会とアマチュア無線

連盟の年齢分布を見ると50歳代の会員が最も多くなっています。20歳以下の会員が殆どいない事もあり、必然的に平均年齢が高くなり、年齢分布は極めて歪で不自然なものとなっています。

事情はアマチュア無線大国、米国でも同じでARRLの統計では米国で免許を持つ40%の人が退職者だそうです。

しかし、趣味の世界での高齢化は悪い面だけではなく良い面もあると思っています。というのは米国の”MITスワップミート”や”デイトン・ハムベンション”は毎年賑わっており、高価な骨董品や最新機器もよく売れています。

これは退職者にはあり余る時間があり、人にも依りますが相当な過分所得があるからだと思います。

かつて世界中で羨望と尊敬の意味を込めて我々ハム仲間は”オタク”と呼ばれていました。

近年、元祖”オタク”と称された我々のお株も他の分野の人達に奪われた感がありますが、真の”オタク”は新しい文化を生み出すトリガーになると確信しています。

事実我々の仲間はインターネットが存在しなかった時代から通信機を自作をしたり、軍用無線機の払い下げ品を改造したりして世界中とコミュニケーションを取ってきました。また、パケット無線通信の開発にも貢献し、これは今日のインターネットやワイヤレスネットワークに使われている通信プロトコルのもとになっている技術です。

生き甲斐をどこに求めるかは個人の選択ですが、少なくともアマチュアイズムという切り口では我々はやはり”オタク”と呼ばれるべき存在で、まだまだ文化創造に関わっていける集団だと信じています。

今や秋葉原や日本橋はハムではない”オタク”の聖地になってしまった感がありますが、すでに彼らは世界中に情報を発信する文化創造者になっており、一定の地位も確立しつつあります。

”オタク”の称号を再び我々のもとに取り戻し、高齢化のメリットを享受しようではありませんか！

今日、アマチュア無線を取り巻く環境は平穏ではありませんが、社会の中でのアマチュア無線の位置を確認しながら、個人の生き甲斐とも接続可能な方法を模索しようではありませんか！！

監査指導現状報告

和歌山県支部監査指導委員長
JA3DF0 小林嘉弘

JARL和歌山県支部の皆様には日頃から監査指導にご協力をいただき有難う御座います。監査指導委員からの提出されました平成17年度の監査指導報告書の一部を抜粋して下記に報告を致します。

監査指導報告

平成17年度最終報告は3月になりますので、平成16年3月分報告を含み計1年分の集計としました。

	HF	144Mhz	430Mhz	計
アマチュアバンドの使用区分を守らない	5	85	89	179
周波数の逸脱		28	5	33
通信事項	20	85	48	153
呼び出し符号の不送出		120	80	200

以上は委員さんの限られた時間内での受信報告で氷山の一角とも云えます。現状はこの報告の数字十倍でしょう。

監査指導報告の取り扱いについて

支部監査指導委員から寄せられた四半期毎の監査指導報告は集計され支部長経由して各地方本部経由で連盟事務局に報告されます。

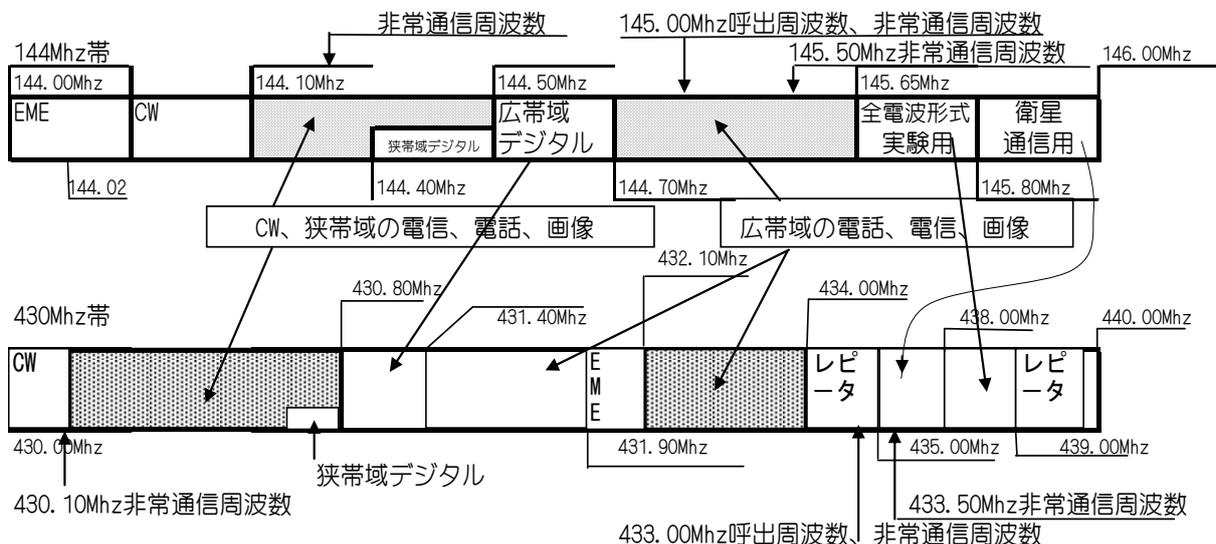
それらの報告書は運用課で取りまとめ担当課（運用課長）→担当部（会員部長）→専務理事→会長に流れます。

取りまとめた報告書はJARL Webで発表する外、総務省本省へのデータ提出をし、さらにアマチュア局用周波数に出没する違法、不法局の取締り強化の要請書としてのバックデータとして活用されています。

いま進めていますガイダンス運用の報告書も同じくデータとして提出され活用されています。また連盟本部だけでなく各地方本部レベルでも同様に総務省通信課に報告活用されています。

今後とも各局の適正なアマチュア無線運用にご協力をお願い致します。

下記の144Mhzと430Mhzのアマチュアバンドの使用区分を参考にしてください。



参考 JARL Webにはアマチュアバンド使用区別が掲載されています。
県支部の監査指導及びガイダンス運用に対してより一層のご理解とご協力をお願いします。

平成16年度支部費決算報告

平成16年4月1日～平成17年3月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥111,359	
《収入の部》		
支部費	¥329,000	
賞典収入	¥6,480	賞典収入より発送費用を差引いた金額
雑収入	¥0	
受取利息	¥0	
計	¥335,480	
《支出の部》		
支部大会費	¥0	
会議費	¥50,200	運営委員会・クラブ代表者会議など
催物費	¥196,744	ホール/会議室使用料・ハムの集い・関ハムなど
渉外費	¥0	
通信費	¥11,310	葉書・切手・ゆうパックなど
交通費	¥1,400	高速道路料金(ARDF機器などの搬送)
消耗品費	¥0	
支部報発行費	¥32,736	コピー機トナー代金・コピー用紙
事務印刷費	¥715	コピー代・ファイル
コンテスト費	¥41,555	賞品・送料など
賞典費	¥0	
非常通信費	¥1,330	ヘルメット
監査指導費	¥0	
雑費	¥3,025	スタッフ前夜祭申込み手数料、電波使用料(JH3YCD)など
計	¥339,015	
次期繰越高	¥107,824	

平成17年度支部費中間報告

平成17年4月1日～平成17年12月31日

科 目	金 額	備 考
前期繰越高	¥107,824	
《収入の部》		
支部費	¥120,000	
賞典収入	¥0	
雑収入	¥0	
受取利息	¥0	
計	¥120,000	
《支出の部》		
支部大会費	¥0	
会議費	¥18,310	運営委員会・クラブ代表者会議など
催物費	¥55,820	ホール/会議室使用料・ハムの集い・関ハムなど
渉外費	¥0	
通信費	¥10,300	葉書・切手・ゆうパックなど
交通費	¥0	
消耗品費	¥0	
支部報発行費	¥0	
事務印刷費	¥0	
コンテスト費	¥41,948	賞品・送料など
賞典費	¥0	
非常通信費	¥0	
監査指導費	¥0	
雑費	¥3,440	収入印紙(JH3YCD免許更新)など
計	¥129,818	
次期繰越高	¥98,000	

平成16年度支部行事報告

平成17年3月31日

日 付	行 事 名 称
平成16年4月4日	第16回和歌山コンテスト
5月	8N3IKDの和歌山県内移動運用(5/14~5/20)
5月21・22日	関西地方本部大会・関西ハムの祭典(池田市民文化会館他)
5月23日	JARL大阪・池田総会(池田市民文化会館他)
5月29日	和歌山県地域安全学会公開シンポジウムなど(紀南文化会館他)
5月30日	運営委員会・クラブ代表者会議
6月	8N3KANの和歌山県内移動運用(6/24~30)
8月29日	CW & DXミーティング(DXへのこだわり周辺学)
9月5日	非常通信訓練(144MHz, 430MHz FM)
9月26日	和歌山県防災総合訓練(有田市・ふるさとの川総合公園)
10月31日	超初心者のハムログ講座(和歌山市河北コミセン)
11月20日	防災・危機管理 e-カレッジ(田辺市・情報交流センター)
11月28日	運営委員会・クラブ代表者会議
12月5日	関西年末ハムの集い(池田市・池田市民文化会館他)
12月20日	防災気象講演会(県民文化会館)
平成17年2月13日	支部大会・ハムの集い(和歌山市河北コミセン)
3月6日	運営委員会

平成17年度支部行事中間報告

平成17年12月31日

日 付	行 事 項 目
平成17年4月3日	第17回和歌山コンテスト
4月	8N3Xの和歌山県内移動運用(4/22~29)
5月21・22日	関西アマチュア無線フェスティバル(池田市民文化会館他)
5月29日	第47回JARL通常総会(宮城県・仙台市)
6月	8N3KANの和歌山県内移動運用(6/3~9)
7月10日	支部運営委員会・登録クラブ代表者会議
8月28日	CW & DX ミーティング(和歌山市河北コミセン)
9月4日	第9回和歌山県非常通信訓練(144MHz, 430MHz FM)
10月28・29日	和歌山県防災総合訓練(和歌山市・ビックホエール他)
10月30日	超初心者のハムログ講座(和歌山市河北コミセン)
11月6日	支部運営委員会・登録クラブ代表者会議
12月4日	関西年末ハムの集い(池田市民文化会館他)
平成18年2月12日	和歌山県支部ハムの集い(和歌山市中央コミセン)
3月12日	支部運営委員会

平成18年度支部行事計画(案)

平成17年12月14日

実施予定日	行事項目	記 事
2006年4月2日	第18回和歌山コンテスト	
2006年4～5月頃	KANHAM記念局の県内移動運用	1週間程度
2006年5月14日	支部運営委員会・クラブ代表者会議	
2006年5月28日	第48回JARL通常総会	連盟本部(熊本市)
2006年6月10～11日	関西アマチュア無線フェスティバル	関西地方本部主催 池田市民文化会館他
2006年7月9日	支部運営委員会・クラブ代表者会議	
2006年8月27日	CW・DXミーティング	
2006年9月3日	第10回非常通信訓練	
2006年9月頃	和歌山県防災総合訓練	和歌山県主催(日時・場所未定)
2006年10月15日	フィールドミーティング	関西地方本部主催
2006年10月22日	支部運営委員会・クラブ代表者会議	
2006年10月29日	超初心者のハムログ講座	
2006年12月～2007年1月	ガイダンス局の運用	2ヶ月
2006年12月3日	関西年末ハムの集い	関西地方本部主催
2007年2月11日	和歌山県支部ハムの集い	
2007年3月11日	支部運営委員会	

【注】原則として理事会の1週間後に関西地方本部会議が開催されるので、それから1週間後(日曜日)に運営委員会・クラブ代表者会議を開催するように計画した。
但し、10/15(日)はフィールドミーティング開催と重複するため、2週間後(日曜日)に延期する。

平成18年度支部予算(案)

平成17年12月14日

《収入の部》	18年度予算(案)	17年度予算	前年比増・減
支部費	¥230,000	¥240,000	¥-10,000
賞典収入	¥6,000	¥5,000	¥1,000
雑収入	¥0	¥0	¥0
受取利息	¥0	¥0	¥0
収入合計	¥236,000	¥245,000	¥-9,000

《支出の部》	18年度予算(案)	17年度予算	前年比増・減
支部大会費	¥0	¥0	¥0
会議費	¥50,000	¥50,000	¥0
催物費	¥100,000	¥102,000	¥-2,000
渉外費	¥0	¥0	¥0
通信費	¥10,000	¥10,000	¥0
交通費	¥0	¥0	¥0
消耗品費	¥0	¥0	¥0
支部報発行費	¥30,000	¥30,000	¥0
事務印刷費	¥1,000	¥1,000	¥0
コンテスト費	¥42,000	¥45,000	¥-3,000
賞典費	¥0	¥0	¥0
非常通信費	¥2,000	¥4,000	¥-2,000
監査指導費	¥0	¥2,000	¥-2,000
雑費	¥1,000	¥1,000	¥0
支出合計	¥236,000	¥245,000	¥-9,000

【注】H. 18年度は地方本部費の減額比率(約4%)に対して、支部費は略々同様の前年比で5%削減の指示が出ている。

第17回和歌山コンテスト結果

県内 個人・電信

1.9MHZ	
① JF3WNO/3	798
2 JH3EZV	1

3.5MHZ	
① JA5NSN/3	1,334

14MHZ	
① JQ3NSU/3	1,288

28MHZ	
① JM3QML	1

144MHZ	
① JI4EAW/3	4
2 JM3QML	1
3 JH3EZV	1

HF MULTI	
① JK3HLP/3	33,376
2 JA3EQC	143

県内 個人・電信電話

7MHZ	
① JA3TLL/3	11,492
② J03MKL	10,557
3 JA3CFH	4,788
4 JA3BPX	4,095
5 JA3BYR	336
6 JF3NIM	30
7 JH3UQP/3	9

14MHZ	
① JP3KLJ	12

21MHZ	
① JG3SKK	228
2 JN3DMJ	1

144MHZ	
① JK3DDU/3	1,692
② JE3CSO/3	1,278
3 JM3ROY/3	658
4 JI3PJU	210
5 JA3DFO/3	190
6 JS3FRA	72
7 JG3SKK	9
8 JF3NIM	1

1200MHZ	
① JL3QQG	4

県内 登録クラブの部	
① 和歌山2mSSB愛好会	7,138
2 和歌山葵クラブ	143
3 潮岬ハムクラブ	72
4 有田アマチュア無線クラブ	2

HF MULTI	
① JH3QED	6,897

VU MULTI	
① JN3DMJ	234

県内 社団の部	
① JR3YSG/3	72

県外個人・電信

1.9MHZ	
① JH2GVN	4
2 JA4TOH	1
3 JJ60IJ	1
4 JF2MVI	1

3.5MHZ	
① JA1XPU	2
2 JI2GVL	1
3 JM7EPG	1
4 JA1COP	1
5 JA30EA	1

7MHZ	
① JE2LSL	24
② JE2SJH	20
③ JH1XSB	16
4 JE1UKM	16
5 JH3LXM	12
6 JF1CQH	12
7 JR5GWR	12
8 JQ2CZJ	12
9 JA3QG	12
10 JF60VA	9
11 JH1NXU	9
12 JA3VE	9
13 JA5HPX	9
14 JF1QJD	9
15 JN3ANO	9
16 JA9CHG	9
17 JA3HC	4
18 JA1VVH	4
19 JA1AAT	4
20 JI6DMN	4
21 JA9XAT/3	1
22 JR8CIX	1
23 JM2DNO/2	1
24 JE1KNT	1
25 JG0MWU	1
26 7L3WEV	1

14MHZ	
① JA6JMJ	4
2 JA3RSJ	4

28MHZ	
① JM1LRQ	4
2 JE2SOY	1
3 JE1ALA	1

HF MULTI	
① JA1XEM	132
② JA7DLE	72
③ JA3AA	64
4 JH5HXU	49
5 JH3TCM	36
6 JA6FOF/6	20
7 JA4BDY	16
8 JA1FWY	16
9 JA8AJE	9
10 JH6KDY	9
11 JH7PSL	9
12 JF2FIU	4
13 JH4JUK	4
14 JA1HG	4
15 7N4CLI	4

県外 個人・電信電話

7MHZ	
① JF2WME	90
② 7N4XEC	80
③ JG1TVK	80
4 JH2HUQ	72
5 JG4IBI	64
6 JA0ITY	64
7 JJ0FSM	64
8 JI2QIX	56
9 JA4AJB	49
10 JI3HOE	42
11 JL2LFL	42
12 JL2PCI/3	36
13 JR1CJD/1	35
14 JE5TPX	25
15 JA2PEI	16
16 JR0GSJ	16
17 JM3HYL	16
18 JI1IIF	6
19 JR0GKG	4
20 JQ1AHZ/6	4
21 JE0VFW	4
22 JF1ABZ/1	4
23 7K3AYB/7	4
24 JM1RMI	1
25 JR4WDX	1
26 JL4LHB	1
27 JL4CUN/4	1

14MHZ	
① JA8EJZ	1

21MHZ	
① JR3AAZ	4
2 JH1LAH	1
3 JA3RAZ	1
4 JL7FBV/7	1

28MHZ	
① JJ3TTH	1

50MHZ	
① JR5HWQ/5	1

144MHZ	
① JG5WLV	66
② JA3AA	25
3 JH3AIV	16
4 JA9XAT/3	9
5 JA3RK	9
6 JA5ND/3	1
7 JA30EA	1

HF MULTI	
① JR2DOL	504
② JA3RK	240
3 JA1FBH	168
4 JL7AIA	110
5 JA3WFQ	36
6 JR5PPN	16
7 JK2VOC	9

県外社団の部	
① JI1YUA	99
2 JH3ZIW/3	16

SWL	
① JA4-37294	156
2 JA3-6644	16

丸付き数字は入賞者

同得点は交信時間の早い方が上位です

和歌山コンテスト規約

主 催 : JARL 和歌山県支部
 日 時 : 原則として、毎年4月第1日曜日 9:00~21:00JST
 参加資格 : 日本国内のアマチュア無線局および SWL
 部 門 : N = 和歌山県内の部、 G = 和歌山県外の部、 SWL = SWL の部

種目・コード・使用バンド : 下記一覧表の通り。

★個人局の部	和歌山県内		和歌山県外	
	電信	電信電話	電信	電信電話
1.9MHz シングルバンド	NC1.9	-----	GC1.9	-----
3.5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	GC3.5	GX3.5
7MHz シングルバンド	NC7	NX7	GC7	GX7
14MHz シングルバンド	NC14	NX14	GC14	GX14
21MHz シングルバンド	NC21	NX21	GC21	GX21
28MHz シングルバンド	NC28	NX28	GC28	GX28
HF(1.9~28MHz)マルチバンド	NCHF	NXHF	GCHF	GXHF
50MHz シングルバンド	NC50	NX50	GC50	GX50
144MHz シングルバンド	NC144	NX144	GC144	GX144
430MHz シングルバンド	NC430	NX430	GC430	GX430
1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	GC1200	GX1200
V・UHF(50~1200MHz)マルチバンド	NCVU	NXVU	GCVU	GXVU
★社団局の部				
マルチバンド電信・電話	-----	NXMA	-----	GXMA
★SWL の部				
マルチバンド電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)			

周波数区分 : JARL 主催コンテスト使用周波数帯を適用する。

1.9MHz 1200MHz はアマチュアバンド使用区分を準用する。

呼出方法 : 県内局(電信) CQ WK TEST IN DE J*3***/3

(電話) CQ 和歌山コンテストこちらは県内局 J*3***/3

県外局(電信) CQ WK TEST DE J*7***/7

(電話) CQ 和歌山コンテストこちらは J*7***/7

交信相手局 : 県内局 = 国内全域 県外局 = 和歌山県内局のみ

コンテストナンバー : 県内局 = RS(T)+市・郡ナンバー

県外局 = RS(T)+都道府県支庁ナンバー

得点 : 1交信を1点とする。SWL は和歌山県内のみを1点とする。

但し、同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。

マルチプライヤー : 県内局 = 各バンド毎に都道府県支庁(和歌山県を除く)および和歌山県内の市郡を1マルチとする。

県外局 = 各バンド毎に和歌山県内の市郡を1マルチとする。

総得点 : 得点合計×マルチ合計
提出書類 : JARL コンテストログおよびサマリーシート、またはそれと同一と見なし得る様式とする。
書類提出期限 : 開催当該年の4月30日(消印有効)
書類提出先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱 1 号
JARL 和歌山県支部コンテスト係
または E-Mail の場合は下記の 2ヶ所へ同時送信のこと。
jh3ezv@ares.eonet.ne.jp & jf3-nim@nike.eonet.ne.jp

問合せ先 : 上記に同じ。

賞状 : 各部門、種目別にエントリー数が 5 局以内は 1 位のみ。
6～10 局は 2 位まで。 11 局以上は 3 位まで賞状を発行する。

禁止事項等その他 :

* JARL コンテスト規約に準じる。

* エントリーは個人局 2 種目以内、社団局 1 種目とする。

但し、2 種目とは HF 帯(1.9～28MHz)と VUHF 帯(50～1200MHz) で各 1 種目。

同一人が個人局や社団局など 2 以上のコールサインを使用してのエントリーは認めない。

和歌山県内局はマルチバンドで運用し、シングルバンドにエントリー出来る。

和歌山県内 JARL 登録クラブ構成メンバーは、提出書類に登録番号と登録クラブ名を記入すること。

* コンテスト結果が必要な方は SASE を同封すること。

なお、封筒の大きさは長形 3 号(120×235mm)とし、¥80 切手を貼ること。

* 移動局に対しては、当該地に移動した事実を証明する公正な第三者の書類などの提出を求める場合があるので、予め心得ておくこと。

* 副賞『和歌山県特産品』はエントリー数・得点などにより下記の通りとする。

県内の部・県外の部共に入賞 10 個程度＋特別賞 1 個程度 (合計 22 個程度)

県内の部・県外の部共に入賞 10 個＋特別賞 1 個 (合計 22 個)

* 電子ログで提出する場合のお願い!

電子ログは JARL Web に掲載の電子ログ作成ツール(最新版)に従うこと。

ウィルス対策上から原則として添付資料は受け付けない。

件名欄は『WK-TEST』、送信者欄は『氏名』または『コールサイン』を正しく名乗る。

(悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないこと)

【補足説明】

当該地に移動した事実を証明する公正な第三者の書類とは??

具体的には宿泊先のパンフレット、宿泊料の領収書、道路通行料の領収書、駅のスタンプ、当該地近傍(ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、一般商店など)で商品購入した際の領収書、現地で撮影した日付入りの写真などを考えています。

和歌山アワード規程

2006-1-1 現在

下記のように和歌山県内の市郡町村から各1枚の QSL カードを取得する。

1. Excellent 賞 : 32市町村
2. A賞 : 8市
3. B賞 : 7郡
4. C賞 : 23町
5. D賞 : 1村

特記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。

申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請すること。
SMLおよび外国局にも発行する。

(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)

また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村と QSO したが、その QSL カードを取出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該 QSO を認めるので申請先へ問い合わせること。

但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後は JARL 文書管理規定で廃棄のため)

手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは 500 円。
複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき 300 円づゝ加算する。
外国局は1賞につき 5RC とする。

その他 : 市町村名の変更や増減が行なわれた場合は、それらの施行日を以って本規定も改定されたものとする。

申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号
JARL 和歌山県支部アワード係

問合せ先 : 申請先に同じ(SASEに限る)
電子メールの場合は、jr3eqg@jarl.com または jh3ezv@jarl.com

発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市郡町村とは下記の通りです。

- 【市】 和歌山市 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市 紀の川市
- 【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 有田川町
伊都郡 : 九度山町 高野口町 かつらぎ町 高野町
海草郡 : 紀美野町
那賀郡 : 岩出町
西牟婁郡 : 上富田町 白浜町 すさみ町 日置川町
東牟婁郡 : 古座川町 太地町 那智勝浦町 串本町
日高郡 : みなべ町 由良町 印南町 日高町 美浜町 日高川町
- 【村】 東牟婁郡 : 北山村

今後も引き続いて平成の合併が予定されていますが、これに伴う和歌山アワードの申請条件を下記の通り明確にしておきます。

JARL 発行の WACA および WAGA 方式を採用します。即ち、各賞毎に最終交信時点において現存する市・郡・町・村を有効とし、消滅した市・郡・町・村は無効とする。

また、申請に際して JARL が制定している市・郡番号(JCC および JCG ナンバー)を使用することは差し支えないが、ハムログなどが制定している町・村番号・記号は JARL として認めていないので、町・村名をその俚記入して下さい。

アワード発行状況

(平成17年1月1日～12月31日)

	No.	呼出符号	氏名	特記
Excellent賞	59	JJ3CRZ	南方 富晴	7MHz-SSB
	60	JJ3CRZ	南方 富晴	144MHz-SSB
A賞	184	JI6QJX	三浦 俊夫	7MHz-SSB
	185	JJ3CRZ	南方 富晴	50MHz-SSB
	186	JK2EBB	石川 砲蔵	7MHz-SSB
	187	JM1ATF	伊南 栄治	7MHz-SSB
	188	JF60ID	庄司 政行	7MHz-SSB
	189	JA2EPW	小林 仁	
B賞	138	JF1LFW	竹村 博喜	7MHz-SSB
	139	JI6QJX	三浦 俊夫	7MHz-SSB
	140	JJ3CRZ	南方 富晴	50MHz-SSB
	141	JK2EBB	石川 砲蔵	7MHz-SSB
	142	JM1ATF	伊南 栄治	7MHz-SSB
	143	JF60ID	庄司 政行	7MHz-SSB
	144	JJ3XKM	葭原 秀敏	7MHz-SSB
	C賞	申請なし		
D賞	申請なし			

JARL和歌山県支部登録クラブ一覧表 (平成18年度)

平成18年1月1日現在

登録番号	クラブ名称	代表者	CALL
26-1-1	はまゆうアマチュア無線クラブ	古久保恭一	JA3CHT
26-1-2	有田アマチュア無線クラブ	岩崎好宏	JA3CF
26-1-12	ハム高野山クラブ	中尾 勲	JR3TPS
26-1-17	潮岬ハムクラブ	南部 清	JE3AIU
26-1-18	紀州路田辺ハムクラブ	鈴木博雄	JA3RPY
26-2-2	桐蔭高校アマチュア無線クラブ	梅本教正	JA3WRV
26-4-1	和歌山葵クラブ	廣井五十二	JA3EQC
26-4-3	オールデイ紀の國	加藤明利	JA3BY
26-4-4	紀南ハムクラブ	立花 昇	JR3XKN
26-4-6	和歌山クラブ	笹井美秋	JA3BL
26-4-22	和歌山2m SSB愛好会	田中将夫	JF3NIM
26-4-24	和歌山身障ハムクラブ	鍛冶幸雄	JH3MRB
26-4-25	アマチュア無線南海クラブ	浅井章寛	JA3BFS

JARL和歌山県支部運営委員名簿（平成17年度）

平成18年1月1日現在

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号
支部長 (総括)	JH3EZV	勝本 健	640-8482	和歌山市六十谷1353-14	073-461-3232
副支部長 (和歌山・教育・技術指導)	JA3EQC	廣井五十二	641-0036	和歌山市西浜1009-8	073-445-2889
運営委員 (海南・広報・会報・コンテスト)	JF3NIM	田中将夫	642-0001	海南市船尾237	073-482-3202
運営委員 (和歌山・企画・渉外)	JR3RXM	臼井貞行	640-8306	和歌山市出島121	073-471-2390
運営委員 (和歌山・非常通信)	JR3KUF	池上和彦	641-0062	和歌山市雑賀崎6-48	073-444-3080
運営委員 (和歌山・コンテスト)	JA3WRV	梅本教正	641-0045	和歌山市堀止西2-2-14	073-426-0118
運営委員 (和歌山)・監査指導委員長	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市三葛285-157	073-447-1009
運営委員 (伊都)	JL30RT	前 清	648-0211	伊都郡高野町高野山796	0736-56-2693
運営委員・監査指導委員 (海南)	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市大野中212	073-482-5429
運営委員 (海草・コンテスト)	JF3IVR	前谷昌男	640-1103	海草郡紀美野町吉野164	073-489-2079
運営委員 (有田・アワード)	JR3EQG	辻村光司	649-0301	有田市下中島48-3	0737-88-5332
運営委員 (有田・コンテスト)	J13VYC	江川裕之	649-0446	有田郡有田川町田口1300-1	0737-52-2325
運営委員 (御坊・日高)	JA3CHT	古久保恭一	644-0002	御坊市園377-3	0738-22-6955
運営委員 (田辺・非常通信)	JH3SYB	田上茂樹	646-0031	田辺市湊1432	0739-25-1882
運営委員・監査指導委員 (西牟婁・非常通信)	JG3QEV	川崎紀久男	649-3632	東牟婁郡串本町須江1039-1	0735-65-0568
運営委員 (新宮・東牟婁)	JA3BPX	岡崎 悌	647-0071	新宮市佐野1730-13	0735-31-6221
相談役	JA3BL	笹井美秋	641-0012	和歌山市紀三井寺678	073-444-3896

JARL和歌山県監査指導委員名簿（平成17年度）

平成18年 1月1日現在

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号
監査指導委員長	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市三葛285-157	073-447-1009
監査指導委員	JE3GON	池上 賢	646-0003	田辺市中万呂471-1	0739-25-5650
監査指導委員	JG3QEV	川崎紀久男	649-3632	東牟婁郡串本町須江1039-1	0735-65-0568
監査指導委員	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市大野中212	073-482-5429
監査指導委員	JK3UWI	中川慎二	649-6531	紀の川市粉河2463-6	0736-73-6238
監査指導委員	JA3DFN	高田秀志	640-8413	和歌山市島橋東ノ丁13-7	073-451-9555
監査指導委員	JA3BY	加藤明利	640-8303	和歌山市鳴神68-4	073-475-4421
監査指導委員	JH3GAH	後藤太栄	648-0211	伊都郡高野町高野山154	0736-56-4724